

令和4年第1回定例会

令和3年度補正予算（案）の概要

第1回定例会では、国の補正予算を活用し、民間保育施設等に勤務する保育士等の賃金改善を行うことを目的とした、「保育士・幼稚園教諭等処遇改善臨時特例事業費」や令和4年度への繰越明許費として、朝里小学校の「トイレ改修事業費」を計上したほか、新型コロナウイルス感染症対策関連予算として、拡大する感染やクラスター発生等に対応するため、「新型コロナウイルス感染症対策事業費」や「クラスター対策事業費」などを計上しました。

また、歳入では市税や地方特例交付金などを増額し、歳出では扶助費や市債元金償還金などについて、決算見込額を精査し減額するなど、所要の補正を計上しました。

[先議分]

会計名	補正予算額
一般会計	7,403万8千円

【補正予算の主な内容】

◇新型コロナウイルス感染症対策関連予算

新型コロナウイルス感染症対策事業費 5,583万8千円

- ・クラスター発生や変異株等の影響による医療費及び検査委託料の支出見込額の増
- ・無症状濃厚接触者等を対象とした行政検査増加に備えた外部委託先の追加に係る経費

◇その他の補正予算

宅地耐震化推進事業費【繰越明許費】 1,820万円
(繰越明許費 1,820万円)

国土強靱化基本計画に基づき、大規模盛土造成地の滑動崩落による宅地地盤の被害を防止するため、現地踏査、簡易地盤調査、優先度評価等を実施し、第2次スクリーニング計画を作成

[通常分]

会 計 名	補正予算額
一 般 会 計	1億7,764万2千円
国民健康保険事業特別会計	1億4,420万円
住宅事業特別会計	—千円 ※1
介護保険事業特別会計	5,219万円
後期高齢者医療事業特別会計	△1,557万8千円
病院事業会計	—千円 ※2
水道事業会計	△1億円
合 計	2億5,845万4千円

※1 住宅事業特別会計は、歳出予算の補正のみ

※2 病院事業会計は、歳入予算の補正のみ

【補正予算の主な内容】

◆ 国の令和3年度補正予算関連

住民基本台帳システム整備事業費【繰越明許費】 693万円
(繰越明許費 693万円)

マイナンバーカード所有者の転出・転入手続のワンストップ化を図るため、
 住民基本台帳システムを改修

保育士・幼稚園教諭等処遇改善臨時特例事業費 916万3千円

保育士等の職員に対し、3%（月額9,000円）程度の賃金改善を行う民間の
 教育・保育施設等に対して、当該賃金改善を行うために必要な費用を補助
 ・令和4年2月～3月分

トイレ改修事業費（朝里小）【繰越明許費】 9,720万円
(繰越明許費 9,720万円)

校舎トイレの洋式化等改修

◆ 一般会計

◇新型コロナウイルス感染症対策関連予算

新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金支給事業費
【繰越明許費】 —
(繰越明許費 9,600 万円)

国の事業期間延長による繰り越し

子育て世帯への臨時特別給付金給付事業費【繰越明許費】 —
(繰越明許費 10,175 万円)

クラスター対策事業費 639万6千円
(4定) 2,257万9千円 → (補正後) 2,897万5千円
自宅療養者の増加に伴う療養物資配達に係る経費の増

◇その他の補正予算

生活バス路線運行費補助金 6,599万2千円
(当初) 9,900万円 → (補正後) 1億6,499万2千円
市内バス路線の収支不足額確定に伴う支出見込額の増

障害児給付費 2,274万6千円
(当初) 4億8,431万2千円 → (補正後) 5億705万8千円
利用者の増加に伴う支出見込額の増

児童発達支援 701万4千円

放課後等デイサービス 1,573万2千円

障害児通所支援利用者負担額補助金 25万6千円
(当初) 45万6千円 → (補正後) 71万2千円
利用者の増加に伴う支出見込額の増

老壮大学園芸演習場解体事業費 △360万円
(当初) 360万円 → (補正後) — 円
事業未実施に伴う皆減

〔生活保護費〕 扶助費	△ 3 億 2, 5 5 9 万 9 千円
(当初) 73 億 7, 836 万 6 千円 → (補正後) 70 億 5, 276 万 7 千円	
決算見込みの精査に伴う減	
夜間急病センター管理代行業務費 (現年度追加分)	1, 3 5 8 万 8 千円
新型コロナウイルス感染症の影響に伴う診療収益の減を補填するため、委託料を増額	
看護師養成施設運営支援事業費補助金	3 0 9 万 7 千円
市内における保健医療に貢献する看護師の育成を図るため、看護師養成施設の運営に要する経費の一部を助成	
・ 交付先：学校法人共育の森学園	
ロードヒーティング更新事業費 (交付金事業)	△ 8, 5 3 5 万 7 千円
(当初) 8, 535 万 7 千円 → (補正後) 〇 円	
事業未実施に伴う皆減	
橋りょう長寿命化事業費	△ 3, 3 8 4 万 5 千円
(当初) 4 億 1, 340 万円 → (補正後) 3 億 7, 955 万 5 千円	
事業未実施に伴う減	
除 雪 費	4, 8 0 0 万円
(2/9 専決) 18 億 9, 210 万円 → (補正後) 19 億 4, 010 万円	
電気料金単価増に伴う支出見込額の増	
・ 除排雪関係経費 (雪処理場等関係経費)	60 万円
・ ロードヒーティング関係経費	4, 740 万円
石狩湾新港管理組合負担金	△ 2, 9 4 5 万 9 千円
(当初) 2 億 5, 967 万 1 千円 → (補正後) 2 億 3, 021 万 2 千円	
負担率 道 4/6、小樽市 1/6、石狩市 1/6	
市債元金償還金	△ 8, 6 6 0 万円
令和 2 年度市債借入額の減に伴う減	
市債利子	△ 1, 3 4 0 万円
令和 3 年度市債借入利率の低下に伴う減	

職員給与費	5,900万円
決算見込みの精査に伴う補正	

[燃料・光熱水費]

一般管理費（本庁舎）	170万円
財産管理費（教育委員会庁舎）	41万5千円
学校管理費	
・小学校（17校）	970万2千円
・中学校（12校）	369万8千円
燃料費単価の上昇等に伴う増	

◆繰越明許費

鉄道駅バリアフリー化設備等整備事業費補助金【繰越明許費】	—
	（繰越明許費 4,600万円）
年度内工事未了に伴う繰り越し	

色内ふ頭老朽化対策事業費【繰越明許費】	—
	（繰越明許費 5,810万円）
年度内工事未了に伴う繰り越し	

（国等への返還金）国や道から超過交付となった国庫支出金等の返還

令和2年度超過交付額返還金	266万5千円
過年度超過交付額返還金	150万2千円

（その他）

[歳入] 市税	3億3,980万円
法人事業税交付金	7,700万円
地方消費税交付金	1億900万円
環境性能割交付金	600万円
地方特例交付金	3,370万円
普通交付税	7億1,295万4千円
住宅事業特別会計繰入金	600万円
財政調整基金繰入金	△10億1,381万7千円

[市 債] 市債充当による財源振替 7, 6 1 8 万 4 千円

減収補填債 8 0 0 万円

[積立金] 減債基金積立金 4 億 2, 0 4 7 万 4 千円

寄附に伴う積立金 1, 0 1 4 万 5 千円

観光振興資金基金積立金ほか2件

[繰出金] 特別会計への繰出金 Δ 2, 7 1 6 万 7 千円

(減額) 国民健康保険事業特別会計、後期高齢者医療事業特別会計

◆ 特別会計

◇ 国民健康保険事業特別会計

保険給付費（療養諸費） 1 億 4, 4 2 0 万円

一般被保険者療養給付費 1 億 2, 4 0 0 万円

一般被保険者高額療養費 2, 0 0 0 万円

審査支払手数料 2 0 万円

国民健康保険事業運営基金積立金 2, 6 7 1 万 3 千円

令和2年度超過交付額返還金 Δ 2, 6 7 1 万 3 千円

◇ 住宅事業特別会計

市営住宅施設整備費（施設維持補修費） Δ 6 0 0 万円

◇ 介護保険事業特別会計

保険給付費（介護サービス等諸費） Δ 2, 4 0 0 万円

保険給付費（介護予防サービス等諸費）	1,450万円
居宅介護予防サービス給付費	1,050万円
居宅介護予防住宅改修費	280万円
居宅介護予防サービス計画給付費	120万円
保険給付費（高額介護サービス等費）	900万円
保険給付費（その他諸費）	50万円
介護給付費準備基金積立金	5,219万円

◇ 後期高齢者医療事業特別会計

後期高齢者医療広域連合納付金	△1,557万8千円
----------------	------------

◆ 企業会計

◇ 病院事業会計

[歳入] 医業収益	△7億2,000万円
国庫補助金（入院受入医療機関緊急支援事業等）	1億3,000万円
道補助金（病床確保促進事業等）	6億7,000万円

◇ 水道事業会計

消費税及び地方消費税	1,000万円
------------	---------

改良工事費	△1億1,000万円
-------	------------

豊倉浄水場電気計装設備更新事業について、出来形予定額の変更に伴う令和3年度事業費の減額と債務負担行為（令和4年度）の変更

上記のほか、
一般会計及び特別会計では事業費の財源振替などを予算計上しています。